

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
国語・現代の国語		普通科・1年	2	精選現代の国語 (東京書籍)
科目の概要と目標		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めて、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学期	自己と他者	・「まだ知らない自分に出会う」 ・「届く言葉」 ・評論の読み方 ・【話・聞】分かりやすい説明 ・【書】手順の整理と正確な伝達		・自己の体験に照らしながら評論を読み、読書や対話の持つ創造性について考えることができる。 ・対比的に書かれた評論を読み取ることができる。 ・表現に即して評論を読み、言葉やコミュニケーションに関心を持つことができる。 ・分かりやすい説明をするために必要なことを理解し、具体的な場面を設定して説明を実践することができる。 ・情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を理解することができる。
2 学期	認識を深める	・「今ここにある無数の未知」 ・「不思議な拍手」 ・「水の東西」 ・【話・聞】発想の広げ方と課題発見 ・【書】新聞記事をもとにした問いの立て方と意見のまとめ方		・文章の構成や展開に注意して、筆者の主張を的確に読み取ることができる。 ・事実と推論部分に注意して論の展開をつかむことができる。 ・日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・思考、発想の広げ方や深め方を身に付けることができる。 ・興味を持ったことについて問いを立て、問いに対する自分の意見を筋道を立ててまとめることができる。
3 学期	言葉と社会	・「言葉は世界を切り分ける」 ・「まちの豊かさとは何か」 ・「時間と自由の関係について」 ・【話・聞】本の紹介 ・【書】調べた情報をもとにした説明資料の作成 ・グラフや写真の読み取り方		・言葉に関心を持って言語生活を豊かにすることができる。 ・考え方の違いについて理解を深めることができる。 ・筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。 ・本の良さを伝えるための手段や工夫を理解することができる。